

ようこそ、
四国中央市議会の皆さん！

古賀市議会の 議会改革の取り組み その歩みと今後の課題

	四国中央市	古賀市
人口	87,972人	58,730人
世帯数	38,892世帯	24,858世帯
面積	421.24 km ²	42.07 km ²
人口密度	208.84 人/km ²	1,396.01 人/km ²
議員数	2.2人	1.9人

(5月末日現在) (5月末日現在)

2018年7月11日(水)
古賀市議会

2018年度の視察(8議会)

- ① 4月17日(火) 東京都葛飾区議会
- ② 5月14日(月) 兵庫県南あわじ市議会
- ③ 5月16日(水) 広島県尾道市議会
- ④ 5月21日(月) 福岡県糸島市議会
- ⑤ 7月9日(月) 東京都荒川区議会
- ⑥ 7月11日(水) 愛媛県四国中央市議会
- ⑦ 7月12日(木) 東京都小平市議会
- ⑧ 8月20日(月) 茨城県結城市議会

2015年度 14議会(132人)
2016年度 15議会(144人)
2017年度 27議会(219人)

今期
63議会

今日お話しする主なテーマ

<前半>

- (1) 議会改革前史の紹介
- (2) 2011年5月以降の議会改革の経験
◆制度上の改革や自由討議、議会報告会など
※質疑応答

<後半>

- (3) 政策提言力向上、今後の課題
◆政策推進会議(防災対応、公共交通) 大学とのパートナーシップ協定など
- (4) その他
※質疑応答

議会改革 主な流れ

模索 改革の模索 市制施行(1997年)を契機に
●「議会だより」の発行 ●議会閉会中の所管事務調査
●一日一委員会の開催 ●議長裁量による一問一答

検討 検討の着手 活性化特別委(2010年)や議運
●議会基本条例の視察研修、三重県議会事務局次長による研修会
●特別委最終報告「基本条例は、来任期における重要な検討課題」

実現 議会改革の実現 2011年5月の新体制発足による
●議会基本条例策定を掲げた議長の所信表明
●インターネット中継、議会基本条例の施行、改革度九州沖縄1位
●災害対応要綱や看護大学とのパートナーシップ協定

定着 議会改革の定着・継続 2015年5月以降の今期
●改選後の新たな体制による議会改革の定着、継続
●まち・ひと・しごと地方創生への対応 ●スマホ、iPad対応

所信表明 改革の検討から実現へ

前期議長(奴間健司)就任の所信表明(2011年5月)

第1に、魅力と誇りある古賀市を目指す。古賀市の持てる特徴を最大限に生かし、市民の皆様への幸せ、環境、福祉、子育て、教育、そして産業振興など魅力あるまちづくりを実現するため、議会として19名の議員全員で積極的に役割を果たすよう努力する。

第2に、開かれた議会の充実を目指す。議会だよりの充実や議会のインターネット中継、録面の配信、議会ホームページの充実、議会主催の報告会の開催、市民が傍聴しやすい環境整備に取り組む。

第3に、議会の役割を発揮するために努力。議案に対する活発な質疑、決算審査の充実と予算や施政方針への反映、各常任委員会における所管事務調査と提言、各種団体との意見交換等の充実に取り組む。議会全体での研修会、議会基本条例の制定や第4次総合振興計画の策定について取り組む。

第4に、民主的な議会運営。日ごろからの議員同士のコミュニケーションに加え、議員連絡会の定期開催、必要に応じた会派代表者会の開催、正副議長と事務局との定期的打ち合わせなどに取り組む。

第5に、議会事務局の充実。議会事務局の職員が仕事をしやすい環境整備に配慮し、議員の調査研究活動、政策づくりなどに対するサポート体制の充実に向け配慮する。

議会改革 前期4年間の主な取り組み

2011年5月 2012年5月 2013年5月 2014年4月

インターネット中継検討 → 中継実現 → 議場モニター、委員会生カメラ

議会基本条例検討・可決 → 施行準備 → 施行・自由討議

検討に2年間 施行準備に8か月 → 補正特別委、発言通告制、ボタン表決

8回 議員全員を対象とする研修会実施

500回 式典、イベント、各団体総会等での議長挨拶

200回の正副議長局長定例会議、月1回の議員連絡会

定例議会の前後に市長、副市長との協議の場

7月 初の議会報告会

災害時議会対応要綱

パートナーシップ協定

3月予算特別委の中継 議会情報発信委員会

※ 事務活動費条例・会則規則改正・深夜花火規制条例・予算編成修正

議会中継

2012年6月議会からインターネット中継・録画配信を始めました。

議会トピックスでリアルタイムの議会情報発信

委員長報告も掲載
付託議案の審査結果
閉会中の所管事務調査

2016年4月からスマホ、iPadでも中継・録画を見ることができるようになりました！

政務活動費

政務活動費の収支報告をインターネット公開しました
(2015年1月21日)

2013年2月、政務活動費交付条例の全部を改正
使途範囲を拡大せず、議長による透明性確保業務も明記

2014年度分から領収書・収支報告・調査報告をインターネット全面公開へ

議会中継

● 2015年6月議会以降
補正予算審査特別委員会
決算審査特別委員会
議員全員の特別委員会も
中継・録画配信を開始

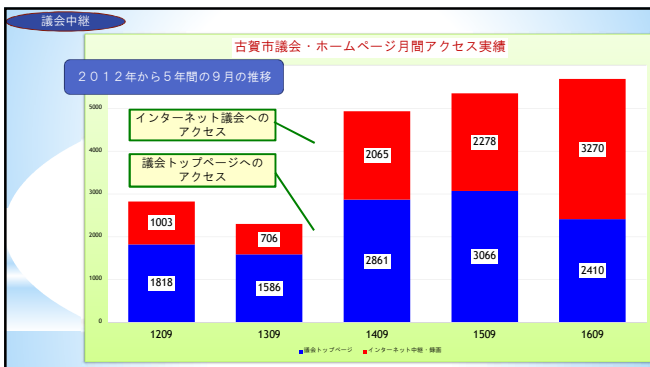
予算審査特別委員会のインターネット中継開始
(2015年3月9日)

議会中継

70インチモニター
議場内に3基

書面カメラ
(2013年～)

一般質問
書面カメラを活用し
モニターにグラフを表示
iPadからのデータ映写も可能



議会報告会

11月14日 土

リーバスプラザ大会議室 19:00~20:30

古賀市の話

古賀市のこと、一緒に古賀市民へ

2017年度は11月18日、19日に3会場で開催

今期 2015年11月14日

今期第1回目の議会報告会

今期 2016年10月22日

今期第2回目の議会報告会

今期 2017年11月18日

今期第3回目の議会報告会

今年度は3カ所で開催

10月22日 19:00~20:30 リーバスプラザ大会議室

10月22日 18:30~20:00 米多比佐公民館

10月23日 18:30~20:00 千歳荘

主催 古賀市議会 事務局 古賀市議会事務局 092-942-1134

議会報告会

今期第3回目の議会報告会

2017年11月18日(土)

会場の全景 2014年7月20日・リーバス

年度	参加者数
2014年度 3会場(7月)	103人
2015年度 1会場(11月)	18人
2016年度 3会場(10月)	70人
2017年度 3会場(11月)	46人

初の議会報告会に103人が参加、よかったと評価

- 7月18、19、20日の議会報告会に市民103人が参加
- アンケートには開催を評価する声が入る

議会報告会

2017年 11月18日 古賀東区公民館

2017年 11月18日 花見原1区公民館

2017年 11月19日 青柳区公民館

各常任テーブルごとの対話 40分

各常任、決算、政策推進会議報告 20分

全体質疑 15分

カフェタイム

反問権

反問権付与

議会基本条例で反問権付与を規定

●基本条例 第9条第2項
議会の会議及び委員会において、市長等は、議員の質問、政策提言、議員提出議案等に関し、議論を深めるため、議長又は委員長の許可を得て、当該議員に対し反問することができる。

確認書(抜粋)

- 反問の内容が、議員が行った質問・質疑の範ちゅうから逸脱していると議長もしくは委員長が判断したときは発言を中止できる。
- 一般質問ならびに施政方針質疑で反問に対する議員の答弁時間は、待ち時間に算入しない。
- 市長等は、反問権を行使するときは論点、争点を明確にするという趣旨を十分踏まえるものとする。

反問権等の運用について議長と市長で確認書に調印(2014年3月27日)

2017年6月議会で中村隆象市長が初めて行使

請願

請願者の意見を正式に聞く機会を実現

文教厚生委員会 (2017年9月4日)

紹介議員

請願者

紹介議員

紹介議員の説明と質疑が終了したあと、5分以内という条件で請願者から意見をお聞きしました。

自由討議

自由討議の活用

議会基本条例で自由討議尊重を規定

●基本条例 第4条第1項
議員は、議会が言論の府であること及び合議制の機関であることを十分認識し、議員相互の自由な討議を尊重しなければならない。

会議規則で自由討議の運用を規定

●会議規則第52条の2、第115条の2
質疑終了後、議長(委員長)が必要があると認めるとき又は動議があったときは、会議に諮って自由討議を行うことができる。

●会議規則第60条、第122条、質疑、自由討議又は討論が終わったときは、議長(委員長)はその終結を宣言する。

自由討議

自由討議の活用

議会基本条例施行前に自由討議を試行

- 2013年12月議会
補正予算審査で休憩中に自由討議を試行

総務委員会で自由討議を活用

- 2014年6月議会
総務委員会に付託された議案審査（自治基本条例策定委員会設置条例）で自由討議を活用

決算特別委員会で自由討議を活用

- 2014年9月議会
決算審査で質疑終了後、公共交通の在り方について自由討議を行い6人が発言。委員長報告に盛り込む。

まち・ひと・しごと特別委で自由討議

- 2015年9月～12月 各党派・議員の意見を基に自由討議

市民連産委員会で自由討議を経て「附帯決議」「決議」

- 2016年3月議会 国保税改定に伴う市長への要望

2018年3月議会では予算審査特別委員会、各常任委員会で自由討議を行った

タブレット活用

タブレットの活用

資料をPDFファイルで提供

- 2013年3月議会以降

議運メンバーで霧島市議会の先進事例を視察研修

- 2013年7月（政務活動）

議運で逗子市議会のタブレット活用を視察

- 2014年7月29日
9月議会最終日に報告。執行部に早期検討を提言。

Googleドライブ活用

- ①定例会に関するデータ
- ②常任委員会のデータ
- ③議会スケジュール
- ④議会関係条例、規則
- ⑤記者発表資料
- ⑥写真データ

議会事務局が各種データをアップしています

いつでも、どこでも閲覧可能
所属以外の委員会資料の入手
パンダー持参は不要に
ペーパーが必要な時も

本会議、委員会へのパソコン等の持ち込みを許可
すでにほぼ全議員が活用しています

逗子市議会の視察風景

ボタン表決

賛否の公開

議員ごとの賛否を表示

議会だよりで全議案の議員ごとの賛否を掲載

- 2005年3月から主な議案、2012年から全議案押しボタン式表決システムを導入
- 2014年6月議会
- 会議規則第70条（起立等による表決）に押しボタン式表決を規定。賛成、反対を明確にした。

●押しボタンによる採決後、議長は「投票総数・人、賛成・人、反対・人、よって可決・否決」と口述。
●可否同数の場合は、直ちに議長裁決とする。以前は投票を行っていたが、可否同数が明確であることから投票を省略することが可能となった。

会議規則第70条（起立等による表決）の第3項、4項に「押しボタン式表決」について定めた。

2018年3月27日の本会議では可否同数による議長裁決が3件あった！

所信表明

今期議長（結城弘明）の立候補の際の所信表明（2015年5月）

行動指針

前期に施行した議会基本条例に基づき、二元代表制の元、執行部とは建設発展的に議論し、可能な限りの議員総意を求め、その最良の意志に基づき即行動。議会内では建設的な議論を経てオリジナリティに富んだ古賀市議会の形成に努力

1 議会運営（判りやすい議会の構築）

- (1) 議会の可視化の拡充
 - ①インターネット配信の有効活用と使用促進のための周知
 - ②議会報に関する市民アンケート、必要かつ親しまれる広報
- (2) 議員間の情報の共有
 - ①庁内研修の充実
 - ②タブレット端末の有効活用や情報機器活用に向け執行部に働きかけ
 - ③視察来庁には書籍の委員会は可能な限り対応し情報を得る。

2 まちづくりへの施策について

- (1) にぎわいと希望ある古賀市を創る
 - ①第4次総合振興計画後期見直し素案、まち・ひと・しごと創生総合戦略に対し特別委員会などの体制づくり
 - ②人口増対策について三世代が定住できる環境づくり
 - ③土地の有効活用で経済の活性化
- (2) 積極的政策提言、執行部の評価・支援、県・国への働きかけ

改革の継続

議会改革

早稲田大学マニフェスト研究所 議会改革度調査結果の推移

早稲田大学マニフェスト研究所 議会改革度 ランキング

古賀市議会の評価の推移です

2014年、2015年度、2016年度 3年連続で九州・沖縄で第1位の評価

年度	総合順位	情報共有	住民参加	機能強化
2011年度	277	298	166	423
2012年度	86	762	912	927
2013年度	112	373	630	265
2014年度	3	55	91	39
2015年度	3	32	66	63
2016年度	4	58	85	128

前半の質疑応答

24

議会だより

1997年3月 議会だより発行検討委員会

1997年9月24日「市議会報編集委員会」発足

1997年11月 「創刊号」発行～第82号まで発行

1999年6月 「議会報編集特別委員会」設置

2005年1月 嬉野町議会の視察

2005年3月 賛否一覧、討論概要掲載

2006年2月 深沢先生研修会・地方議会人掲載

2011年2月 「議会報編集マニュアル」を作成

2015年3月 「議会報編集常任委員会」化を可決

「こが市議会だより」の歩み

議会だよりの一般質問のスタイル

四国中央市議会だより

こが市議会だより

議案修正、議員提案条例

総合振興計画に対する議会としての提言の経験

- 第4次総合振興計画に対する6点の提言（2013年2月臨時会）

予算関係の減額修正案可決の経験

- 当初予算案の海外視察費の減額修正（2013年3月議会）
- 補正予算案の保育所新設補助の減額修正（2013年12月議会）
- 当初予算に対する付帯決議（2014年3月議会）

議員提案による条例制定の経験

- 深夜花火規制条例の議員提案、可決（2013年6月議会）



政策推進会議

市民の声をもとに提言に向けた議員間の討議を積み重ねました

政策推進会議全体会の様子

政策課題の発表会

提言に向けた議員間討議

議会基本条例・第13条

- 市政に関して重要なものについて、議員間で共通認識及び合意形成を図り、政策立案を推進するため、政策推進会議を開催することができる
- 提言として取りまとめたものについて市長等に報告することができる

政策推進会議運営要綱

- （所掌事務）政策課題の決定、調査研究の実施、政策的条例案の策定、市長に対する政策提言の報告
- （役員会）副議長及び各会派から選出された者で役員会を置く。
- （役員会の所掌事務）政策課題の募集及び選定、政策課題発表会の企画及び実施、議会報告会を受けた政策課題の発意、緊急性および必要性が高い政策課題の発意

政策推進会議

前期の政策推進会議役員会の活動

古賀市議会災害対応要綱を策定

熊本地震はこのレベル

「災害対応要綱」

- ①警戒本部第1配備 局長が議長に報告
- ②警戒本部第2配備 議長は副議長、総務正副委員長を招集
- ③災害対策本部 議長は議会災害対策会議を設置（正副議長、議運と各常任正副委員長）
- ④所掌事務 安否及び居場所確認、災害情報の集約、市対策本部への情報提供、市対策本部からの情報の議員への提供

※議会事務局職員は議会の対策会議の事務に従事することになった。

前期

政策推進会議は各会派選出メンバーで構成議長はオブザーバー役員会でまとまったことなどは全体会で協議確認します

業務継続計画は議運管申をもとに協議し全協で了承確認します

政策推進会議

政策テーマ発表会

今期の政策推進会議

政策推進会議 政策テーマ選定に向けて発表会を実施（2015年10月19日）

地域公共交通をテーマに決定各会派・議員等で公共交通の構想（案）を提出し議員間討議を実施

政策推進会議

バス乗務員から説明を聞きました

バスの中でアンケートに記入する高校生

乗客から直接聞き取りもしました

朝夕は通勤・通学で多かったです

2016年8月上旬
全議員が市内の路線バスに乗りして
現状調査を行いました。

政策推進会議

制度改革を活かした最近の初歩的な経験

わざわざ切手を貼って郵送してくれた方もたくさんいました

994件のうち約4割の回答にはご意見がびっしり記入されていました

994件の回答をパソコンで集計

市営市内の路線バスに対する改善要望

項目	件数
乗降の改善	約150
路線の改善	約100
料金の改善	約80
乗務員の改善	約70
車両の改善	約60

2016年8月～9月10日
公共交通に関するアンケート
私たちの予想を遥かに超える
994件の回答が寄せられました

政策推進会議

政策推進会議全体会の様子
各党派、議員からの提案や議員間の
討議を積み重ねました

政策推進会議

平成27年5月27日

市長 中村 雅彦 市長 副市長 佐藤 正樹
市議会議長 藤田 隆夫 市議 田中 英樹
副議長 藤原 賢史

<<市営市内の路線バスに対する改善要望>>

市営市内の路線バスに対する改善要望(改善別件数)について(単位:件数)

乗降の改善 路線の改善 料金の改善 乗務員の改善 車両の改善

① 乗降の改善 乗降の改善は乗客にとって最も重要な事項である。乗降の改善は乗客の利便性を向上させることにつながる。乗降の改善は乗客の利便性を向上させることにつながる。乗降の改善は乗客の利便性を向上させることにつながる。

② 路線の改善 路線の改善は乗客の利便性を向上させることにつながる。路線の改善は乗客の利便性を向上させることにつながる。路線の改善は乗客の利便性を向上させることにつながる。

③ 料金の改善 料金の改善は乗客の利便性を向上させることにつながる。料金の改善は乗客の利便性を向上させることにつながる。料金の改善は乗客の利便性を向上させることにつながる。

④ 乗務員の改善 乗務員の改善は乗客の利便性を向上させることにつながる。乗務員の改善は乗客の利便性を向上させることにつながる。乗務員の改善は乗客の利便性を向上させることにつながる。

⑤ 車両の改善 車両の改善は乗客の利便性を向上させることにつながる。車両の改善は乗客の利便性を向上させることにつながる。車両の改善は乗客の利便性を向上させることにつながる。

34

政策推進会議

最終報告・提言のまとめ部分
(2017年3月2日提出)

一般会計予算に対する「決議」
(2017年3月27日可決)

西日本新聞報道
(2017年4月9日)

バス減便・古賀市議会反発

高層者の足保護へ頼る

政策推進会議

2017年度のテーマは「防災」

政策推進会議勉強会(9月26日)
袖屋北部消防本部の九州豪雨被災地
救援派遣活動の報告会

政策推進会議全体会(9月26日)
各議員、会派から問題提起
防災基本条例の必要性などをめぐり議論

海岸議長協議会議員研修会(10月24日)
熊本県益城町の危機管理課職員を講師に学ぶ

災害対応

災害時の議会対応に関する主な経過

- 2015年 1月31日 政策推進会議全体会で**災害対応要綱、行動マニュアル**策定を了承（今期の政策推進会議は「公共交通」）
- 2015年11月29日 災害対策本部設置訓練
- 2016年10月14日 議会運営委員会で滋賀県大津市議会の議会版BCP視察
- 11月28日 議運で視察報告、議会版BCPを策定することを確認
- 12月16日 古賀市議会のBCP策定に向けて議長から諮問
- 議員連絡会で議会版BCPについて報告
- 2017年 1月 6日 議運で正副委員長案を提案
- 1月18日 議員連絡会で報告・説明
- 2月 7日 議会版BCPについて集中審議、議長へ答申
- 3月22日 議員全員協議会で協議、継続協議を確認
- 6月27日 議員全員協議会で「議会版BCP」を了承

災害対応

防災グッズの整備

3日間の飲料水や食料をはじめ携帯ラジオ、簡易トイレ、防寒用具など緊急時の必需品一式をまとめた防災用品のセット。22リットルと大容量で保冷・保温機能も備え、かつ、貯水タンクとしても活用することができます。

- サバイバルローラーバック 議員及び議会事務局職員に配備
- 折り畳み式防災用ヘルメット 議員30個、執行部及び議会事務局職員40個

収納時 費用時 議員氏名、直轄型、緊急時連絡先を明記

古賀市議会議会運営委員会は、災害発生時の議会としての**業務継続計画（BCP）**の策定に向けて、**滋賀県大津市議会**の先進事例を調査研究しました。
2016年10月14日

災害対応

非常時における議会の行動指針策定状況

早稲田大学マニフェスト研究所
議会改革調査部会
2016年11月2日

非常時における議会の行動指針策定状況

定めている 34% (487議会)
定めていない 66% (926議会)

BCPを定めている議会 0.35% (5議会)
芽室町議会
大津市議会
滋賀県議会
横浜市会
大分市議会

何らかの行動指針がある議会 34%
・申し合わせ
・議員の行動指針
・対応マニュアル
・災害対策本部設置要綱・BCP

早稲田大学マニフェスト研究所

災害対応

災害発生後の時系列の行動パターン

議会運営委員会の答申 2016年2月7日
全員協議会です 2017年6月27日

議会の時系列の行動パターン

1. 災害発生
2. 緊急会議
3. 非常時対応
4. 復旧・復興
5. 平常業務

議会の役割
議会の機能
議会の責任

災害対応

災害発生時の本会議運営マニュアル
議会運営委員会の答申 2016年2月7日
全員協議会です 2017年6月27日

ケース	定例会の時期	議長	本会議議長 可	本会議議長 不可	委員長	一般 委員	市長の 専断可否
1	災害1週間以内	議長、議長代行議員判別 議長、議長代行議員判別	●議長 ●議長代行議員判別	●議長 ●議長代行議員判別	決裁判断	決裁	議長判別 専断不可
2	災害1週間を超えて1週間以内	議長、議長代行議員判別 議長、議長代行議員判別	●議長 ●議長代行議員判別	●議長 ●議長代行議員判別	決裁判断	決裁	議長判別 専断不可
3	翌日の本会議 二日目の本会議	議長、議長代行議員判別 議長、議長代行議員判別	●議長 ●議長代行議員判別	●議長 ●議長代行議員判別	①付託、専断→本会議議決 ②付託専断→本会議議決、討論、採決	決裁	本会議中の 議長判別あり
4	委員会	議長、議長代行議員判別 議長、議長代行議員判別	●議長 ●議長代行議員判別	●議長 ●議長代行議員判別	①本審議、審議途中→本会議 ②審議不可→本会議	決裁	本会議中の 議長判別あり
5	一般質問	議長、議長代行議員判別 議長、議長代行議員判別	●議長 ●議長代行議員判別	●議長 ●議長代行議員判別	議長判別 議長判別	決裁	本会議中の 議長判別あり
6	最終日の本会議	議長、議長代行議員判別 議長、議長代行議員判別	●議長 ●議長代行議員判別	●議長 ●議長代行議員判別	議長判別 議長判別	決裁	本会議終了 議長判別あり

パートナーシップ

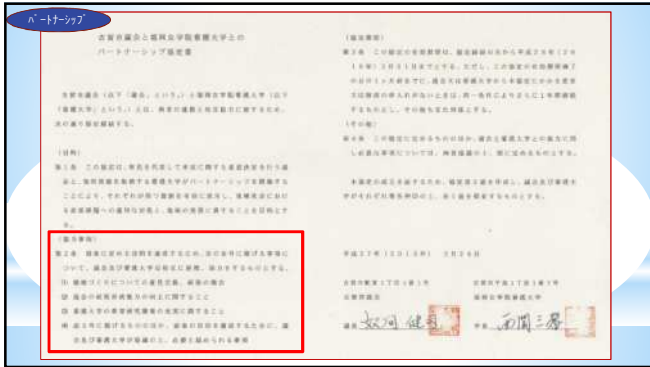
議会と大学のパートナーシップ協定

2月24日に協定書締結並びに記念講演

福岡女学院看護大学
古賀市議会

市と大学の
包括的連携

健康寿命延伸に向けた学生の地域活動
公民館でのヘルステーション



見える化

議会基本条例を反映した議会費の予算案へ
2018年度から2つの事務費を計上

議会審議・調査事務費

政策推進会議に関する経費を盛り込む

議会広報・広聴事務費

議会報、議会報告会に関する経費を盛り込む

49

後半の質疑応答

ご清聴ありがとうございました。
今後も情報交換、経験交流を
お願いします。

50